

# 1. 調査報告概要表

作成日 平成21年1月30日

## 【認知症対応型共同生活介護用】

### 【評価実施概要】

事業所番号	2775502335
法人名	特定非営利活動法人 すみれ
事業所名	グループホームすみれ八尾
所在地	八尾市太子堂2丁目4-6 (電話) 072-945-0007

評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 21年 1月 19日

### 【情報提供票より】(平成 20年 12月 26日事業所記入)

#### (1) 組織概要

開設年月日	平成 17年 3月 1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	14人	常勤	4人, 非常勤 10人, 常勤換算 6.3人

#### (2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2階建ての	1階 ~	2階部分

#### (3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000円	その他の経費(月額)	26,250円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	200円	昼食 300円
	夕食	450円	おやつ 50円
	または1日当たり		1,000円

#### (4) 利用者の概要 (平成 20年 12月 26日現在)

利用者人数	9名	男性	3名	女性	6名
要介護1	0名	要介護2	3名		
要介護3	1名	要介護4	5名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 83歳	最低	75歳	最高	91歳

#### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	カイダ医院
---------	-------

### 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

最寄りの駅よりほど近く、住宅や商店があり、利便性の良いところに民家を改修して設立されたホームです。理事長は長年育ててきた認知症介護の実践という思いからNPO法人を設立し、現在2ヶ所のグループホームを運営しています。また、利用者の経済的負担にも考慮して、創意工夫しています。「日々の時間の流れを大切に、いきいき元気ある暮らしを育む」を運営理念として、利用者や職員が笑顔で過ごせるよう取り組んでいます。食事は3食共ホーム内で調理し、温かい物を召し上げて頂けるよう、利用者も参加して楽しんでいます。また、職員の育成には毎月、同法人グループホームと合同で研修を実施し、全国認知症グループホーム協会の全国大会にも参加して意欲につなげています。地域からのボランティアも積極的に受け入れ、散歩や外出時に参加し活躍してもらっています。近隣特養の喫茶室に出かけ、地域フェスタに参加し交流しています。玄関には季節の花が咲き、散歩がてらに立ち寄る住民もいて、利用者の笑顔も見られ交流が深まっています。年1回は家族会も開催して、小さなことでも見落とさずより良いホームを目指して取り組んでいます。

### 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4)
	前回の外部評価結果で示された事項については職員、家族に報告し、改善に向けて話し合っています。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価票は理事長、管理者が職員に意見を聞きながら作成しています。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議の規定を作成し、出席者は会議録で確認できます。地域包括支援センター職員、高齢クラブ会長、民生委員、知見を有する方、家族、理事長、管理者、事務長の参加を得ています。会議では、河内音頭祭りパレードや地域フェスタについて情報を得ています。また、避難訓練の報告や地域行事に参加していると評価をもらっています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 職員は毎月の請求書と共に、利用者毎のコメントと写真を付け、「すみれ八尾便り」として家族へ送付しています。年に1回はビデオを作成し家族からも喜ばれています。家族が面会に来られた時には近況を伝え、相談にも応じています。法人発行の「すみれ便り」は3ヶ月に1回発行しており、家族会の交流や活動報告、職員紹介、ボランティア紹介、行事予定などについてお知らせをしています。運営推進会議に参加している家族や、面会時に家族の意見を聞くように努め、玄関脇には意見箱を設置しています。年1回家族会を開催し意見交換をしています。年末の大掃除や行事にも参加してもらい、その際にも要望をお聞きして反映しています。
重点項目③	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) ホームは自治会に加入しています。近隣の方がボランティアとして、散歩の同行や持ち物の名前付け、ほころびの縫製をもらっています。利用者は八尾文化祭や子ども会だんじりの見学をしています。地域フェスタに参加して模擬店で焼きそばや紙芝居を楽しみ、小学校や保育園の運動会観戦にも出かけています。
重点項目④	

## 2. 調 査 報 告 書

(          部分は重点項目です)

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念を作り上げています。「日々の生活の流れを大切に、生き生き元気ある暮らしを育む」を掲げて、住み慣れた地域でその人らしく穏やかな生活を提供していくことを目指しています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念が明文化され、施設内の玄関、事務所、リビングの目につきやすい場所に掲示しています。職員は日々の業務の中で確認し、実現に取り組んでいます。新任研修時にも伝えていきます。利用案内文にも明示しています。家族には入居時に説明しています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	ホームは自治会に加入しています。運営推進会議に民生委員、高齢クラブ会長の参加を得ています。近隣の方がボランティアとして散歩に同行したり、名前付けやほころびの縫製をしてもらったりしています。利用者は八尾文化祭に出かけたり、子ども会のだんじりを見学したりしています。理髪店にでかけたり、地域フェスタに参加して模擬店で焼きそばや紙芝居を楽しんだり、小学校や保育園の運動会も観戦しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価結果で示された事項については職員、家族に報告して改善に向けて話し合っています。自己評価票は理事長と管理者が職員に意見を聞きながら作成しています。今後とも全職員で評価の意義を共有するため、話し合いの機会を持つことが期待されます。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の規定を作成し、会議録で出席者が確認できます。地域包括支援センター職員、高齢クラブ会長、民生委員、知見を有する方、家族、理事長、管理者、事務長の参加を得ています。会議では、河内音頭祭りパレードの情報や地域フェスタへの参加などに意見をもらい、皆で参加して喜ばれました。また避難訓練や地域行事に参加しているとの報告については、高く評価を受けました。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市役所担当職員、地域包括支援センターとは常に連携を密にしています。相談、報告等情報交換を行っています。困難ケースの入居の相談を受ける事もあり、絶えず連携を取っています。行政主催の連絡会議や研修に参加してサービスの向上に取り組んでいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	職員は毎月の請求書と共に、利用者毎のコメントと写真を付け、「すみれ八尾便り」として家族へ送付しています。年に1回はビデオを作成し家族からも喜ばれています。家族が面会に来られた時には近況を伝え、相談にも応じています。「すみれ便り」は3ヶ月に1回発行して、家族会の交流や活動報告、職員紹介、ボランティア紹介、行事予定などについてお知らせしています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関脇に意見箱を設置しています。運営推進会議に参加している家族や、面会時の家族から意見を聞くように努めています。年1回家族会を開催し意見交換をしています。年末には大掃除や行事にも参加してもらい、要望を聞きながら反映しています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	最近離職が最小限で落ち着いてきています。新人職員が入る時は、OJT (On Job Training) を利用して法人事務局にて研修をし、グループホームの理解とスムーズになじめるような工夫をしています。職員の異動時には「おたより」にて報告を行い、家族の訪問時に紹介しています。認知症の利用者にとってなじみの関係は大切なことであるため、今後も職員の異動を最小限にすることが期待されます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月、同法人2ヶ所合同の内部研修を実施し、全ての職員が参加できるように配慮しています。大阪認知症高齢者グループホーム協議会からの案内や、市の研修を活用しています。また、研修会に参加した職員から研修報告書の提出を受けています。外部研修についても、経験に応じて参加する機会を設けています。全国認知症グループホーム協会の全国大会にも参加しました。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	大阪認知症高齢者グループホーム協議会に加入し、そこでの情報を活用しています。八尾市の事業者連絡会にも参加しています。同法人グループホームの敬老会に参加して交流を図り、近隣の特養を訪問して研修に参加しています。近隣の福祉施設と災害時の協力等についても話し合っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者が安心して利用でき、ホームでの生活のリズムをつかめる支援や、馴染みの関係を作っていけるような働きかけを行っています。また、職員が自宅や入所施設を訪問して面接の機会を作るほか、ホームの見学も受け入れ、入居後の生活に納得が得られるよう努めています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	料理の得意だった方には、野菜の切り方や味付けを教えたり、魚をさばいてもらうこともあります。また利用者からポルトガル語やダンスの得意だった方から社交ダンスを習うこともあります。編み物を教えてもらったり、誕生日には挨拶の得意な方にスピーチをしてもらったりと、共に支え合い学び合っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時のアセスメントを家族等から聞き取り、日々の関わりの中で利用者の希望や意向の把握に努めています。また、言葉や表情から利用者の状況を察しています。職員は入居に至るまでの様子について把握し、本人本位の対応を心がけています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	大阪認知症高齢者グループホーム協議会方式を取り入れてアセスメントシートを作成しています。ライフスタイルについてもわかりやすく記入し、情報を収集しています。入居時に利用者、家族、関係者からアセスメントを取り、利用者の希望に沿える計画になるようにしています。毎月1回全職員が参加して、ケースカンファレンスを実施しています。作成した介護計画書について利用者、家族からの同意のサインもあります。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画については6ヶ月ごとに見直しを行っています。目標については、日々の記録や毎月のミーティング、随時の会議での話し合い、利用者の状態変化や状況、家族や利用者の要望に応じて見直しています。アセスメント記録、カンファレンス記録、モニタリング記録や見直された介護計画書もあります。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多 機能性を活かした柔軟な支援 をしている	利用者、家族の希望に応じて 受診や物品購入等、柔軟な支 援を行っています。24時間か かりつけ医と相談、連絡がと れ緊急時に備えています。ま た同法人グループホームとの 合同クリスマス会や、その他 の行事にも参加して交流を 図っています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切 にし、納得が得られたかか りつけ医と事業所の関係を 築きながら、適切な医療を 受けられるように支援して いる	近隣より月2回内科往診があ り、医療面での支援があり ます。また、夜間や緊急時 には何時でも受け入れて、 相談にも乗ってもらえま す。歯科往診は週1回あり、 義歯の調整や歯の手入れを してもらっています。整形外 科、耳鼻咽喉科等の受診に ついては、随時支援してい ます。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方 針の共有 重度化した場合や終末期の あり方について、できるだけ 早い段階から本人や家族等 ならびにかかりつけ医等と 繰り返し話し合い、全員で 方針を共有している	ホームでは看取りの指針や 確認書を作成し、家族にも サインをもらっています。こ れまでもホーム内で看取り を経験しています。家族か らの看取りの希望がある 場合は、「できること、でき ないこと」を示し、話し合 いを持ちながら職員や家族 との一体化した支援、医療 機関との連携を保ちながら 支援しています。		



外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の取り扱いについて、職員は契約書を取り交わしています。職員の声かけや態度については会議等で話し合い、利用者には優しく言葉で接しています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の日課は決まっていますが、利用者の体調や希望に合わせて過ごせるように支援しています。気候の良い日は散歩に出かけたり、近隣の美容室へ車椅子で出かけたりと、利用者の希望に沿った支援を行っています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事については、食材は業者から配送されています。3食共にホームで調理し、できたてを提供しています。毎食味付けや柔らかさ、カロリーについても配慮しています。利用者はタマネギの皮をむいたり、食卓を拭いたり、できることをしています。職員は利用者と共に食事を摂りながら、食べこぼし等をサポートしています。利用者一人ひとりのトレーの上にランチョンマットを敷き、クッションになるよう工夫しています。週2回は、ホームで利用者の希望を取り入れて献立を考え、調理しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	お風呂は日曜日を除いて毎日沸かしています。利用者の体調に配慮しながら、順番や曜日、時間を変えるなど、気持ちよく入浴してもらえるよう工夫しています。また利用者の状態に合わせて、入浴用リフトを使用しています。希望すれば毎日入浴することもできますが、現在は週2回の入浴となっています。また足浴は毎日実施しています。	○	利用者の状態も配慮しながら、週3回は入浴することが求められます。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者のできることを大切に、楽しみを探しています。編み物の得意な方にはマフラーを編んでもらったり、唱歌の大好きな方にはマイクを向けて歌ってもらったり、昔話を聞いたりしています。その他の利用者にもリサイクルに出すために牛乳パックを切りそろえたり、衣類に名前を書いたり、洗濯物をたたむなど役割や楽しみごとをもって日々過ごせるよう支援しています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は、散歩や買い物に出かけています。近隣特養の喫茶室や文化祭にも出かけています。外食でイタリアンレストランに行ったり、近隣の寺で催される絵灯籠を観に行ったりすることもあります。ホームの玄関にはベンチを置き、日光浴やおやつを楽しんでいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホーム前は車の往來の多い道路があり、玄関の鍵は職員全員が所持しています。玄関の入り口には事務所があり、管理者が不在の時は施錠しています。利用者の外出を察知した場合は職員が必ず付き添い、危険のないよう支援しています。また、玄関に近寄るとベルが鳴るように工夫しています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害に備えてマニュアルを作成しています。災害時訓練は、利用者も含めて定期的に避難訓練を行い、消防署の協力も得ています。非常用として利用できる食品などの備蓄もあります。民生委員の協力により、非常用持ち出し袋や防災についての連絡網の体制作りができました。近隣の特別養護老人ホーム2ヶ所とも協力体制を整え、安心感があります。今後は3日分を目安に水の補充が望まれます。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量について毎回確認し記録をしています。水分摂取量についても、毎回食事の折やティータイムの時に水分補給に気をつけ脱水予防に努めています。献立については、食材搬入業者の管理栄養士にアドバイスを受けています。嚥下困難な方にはとろみ剤を使うなどの工夫をしています。また、肥満気味の方にはお米にマンナンライス（こんにやくを米粒上にしたもの）を混ぜたり、砂糖を控えたりしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関にはベンチが置かれ、パンジーや干し柿もあり、和やかな雰囲気になっています。リビングは明るく、ゲームやカラオケセットなどが整理されており、表示をするなど使いやすく工夫されています。利用者の作品や写真、1年の抱負を飾っています。トイレのふたについても利用者に配慮し、リフォーム中でした。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室は居心地の良いように椅子や思い出の写真、遺影などが飾られています。毎朝風を通して空気を入れ換え、ベッドにはカバーをかけて優しい雰囲気を保っています。自宅からはタンスや飾り台などを自由に持ち込んでいます。ホームではリサイクル品を活用し、居室らしくしています。各居室のドアの小窓には、それぞれのボランティアによりパッチワークや刺繍の飾りがあり、個性が見られます。		